

「なら・図書館に集う会」平成元年度総会 概要報告

日 時：令和2年3月5日(木) 14:30～15:30

会 場：奈良県立図書情報館 経営委員会室

出席状況：会員9名（うち一般1名） 事務局4名

<概要> ※敬称略

1 開 会

出席者、事務局の紹介

(1) 挨拶

理事長 花山院 弘匡

「なら・図書館に集う会」で、図書館を奈良のみなさんがより良く活用できる、身近なものに思うことができる、そのような形にボランティア的なもので結びつくようなこと、図書館にみなさんが集いたいと思うようなことが考えられれば、この会の活動としてふさわしいと考える。力不足であるが、努力して参りたい。

奈良県立図書情報館 館長 千田 稔

今日のような新型コロナウイルスが蔓延している時期にお呼び立てして申し訳なく思っている。よくお運びいただいたと感謝している。できるだけ短時間で終わりたいと思っている。当会は発足して間もない。本日は、この会をより良くするためより積極的なご意見をお聞かせいただきたい。

2 会議の公開について

資料1「会議の公開等について」に基づき事務局から説明
議事録については後日当館HPで公開する。

→本日の会議は、公開ということで異議なく承認

以後の議事は、花山院理事長が議長となり進行

3 議 事

(1) 「なら・図書館に集う会」役員選任等の報告について

資料3「役員改選（案）」、参考「会員名簿」に基づき事務局から説明。

花山院弘匡氏を理事長に選任すること前回総会以降に入会いただいた役員及び一般会員を報告

→異議なく承認

(2) 「なら・図書館に集う会」平成29年度及び平成30年度決算・事業報告

資料4-1、4-2「平成29年度及び平成30年度 収支決算・事業報告」に基づき事務局から説明。

2カ年まとめたの報告になったことについて、事務局よりお詫び。

会費について、一口1万円だが、複数口また複数年納入可能であることを、会則に基づき説明。

監事の済生会病院瀬川院長による監査を経ていることを報告。

→異議なく承認

理事長より、事業報告によると250名参加のイベントがある。路線バスのほか、自動車による来館者も多い。駐車場が広いメリットを活かした催しを、検討すべきとの意見あり。

(3)「なら・図書館に集う会」の運営について

特に資料はなし

事務局より、今後の事業展開として、会員（役員）によるリレー講座及び新大和鉄道唱歌の普及に向けた取り組みを提案。

<理事長及び会員よりの意見>

- ・奈良にしかないことを学ぶ、奈良のアイデンティティが感じられる内容をテーマに考える。
- ・奈良県に特化したことを、ジャンルにとらわれずいろんな事を発信していく。
- ・インバウンド激減の現在、インバウンドだけでなく近畿圏、県内の人にも奈良のことを知ってもらう機会を。
- ・奈良にしかないことを（多聞城の漆喰造り、刀剣、甲冑、酒造り、墨・筆、能楽など）、奈良の人も知らないことがある
- ・図書情報館は、“情報”のついた図書館。SNSやYouTubeを活用した文化の広げ方を考えては。SNSは簡単に広まる。
- ・新大和鉄道唱歌の取り組みがなされたことは大変喜ばしい。奈良のふるさとを大切にしたいがもとになって唱歌に発展した。
- ・最初に取り組んだことを続けることが大切。継続する中で新しいことを取り入れる視点も必要。集う会は、図書館では出来ないことをやる、違った面からの取り組みという方向（コンセプト）。
- ・新大和鉄道唱歌については、継続していく。せっかく完成した曲なのでCD化して流せば普及活動になるのではないか。駅、記念事業等で流すなど、地方からの文化発信は素晴らしいこと。
- ・奈良の特徴的な文化は何かを考えながら地道に発信していくことも大切。春日大社国宝殿で開催された刀剣展も人気であった。若い女性が多い。

令和2年度事業計画、予算案は、事務局が次期総会で諮ることとする。

→異議なく承認

4 その他

→事務局及び出席者より、審議事項の提案なし。

5 閉会

(文責：事務局)